

いぶき 12号平成24年1月

世界の偉人たち「驚きの日本発見記」

第11回:エドウィン・ライシャワー(1910~1990年)

19世紀の半ば、圧倒的な欧米の経済力、軍事力に直面したとき、日本人はひとりとして自分の利益のために外来者と手を組んで、同胞たる日本人に敵対しようとはしませんでした。日本が経験したのと同じ危機や災厄に直面した他の開発途上国の指導者の多くは、彼らの同胞の犠牲において巨額の個人資産を海外につくり上げましたが、このような行動に出た日本人は一人もありません。

(出典『ザ・ジャパニーズ』文芸春秋)

アメリカ人の歴史学者で、日本の歴史を研究するとともに、アメリカ合衆国駐日大使も勤めたライシャワーは、日本人が「私心を持たない」ことに驚愕しました。日本人は日本の事をあまり良く思っていないと見受けられることが多々ありますが、外国人からは日本は高く評価されています。19世紀の日本と他の非欧米諸国の歴史を比べると、日本ほど速やかに巧みに、欧米の経済・軍事技術に対処した国はありません。この要因は、欧米からの衝撃という外的要素ではなく、日本人の内的な面、すなわち「私心を持たない」という崇高な自己抑制力を有することにあります。自己を顧みず私心なく国のために尽くす精神は、西洋や中国とは決定的に違う日本人の美徳といえます。(M.I.)